

紀州街道と大和橋

きしゅうかいどう
紀州街道は昔からの大切な道で、大和川つけかえの時、ここだけに橋がかけられました。

江戸時代には紀州（和歌山）藩^{はん}や岸和田藩^{さんきんこうたい}の参勤交代の行列も通りました。

堺^{さい}の中心部では大道^{だいどう}と呼ばれ、現在は路面電車^{ろめん}・阪堺線^{はんかい}（ちんちん電車）が走っています。

大和川をわたる阪堺電車とお神輿



大和川つけかえまで、堺と住吉は一体の地域だった

400年ぐらい前、大和川がつけかえられる前の住吉大社^{すみよしたいしゃ}のお祭りのようすが描かれた大きな絵^{えが}があります。行列が堺のまちと海辺を通っています。住吉大社は海や船の安全を守り、堺の港を守る神様でもあったのです。

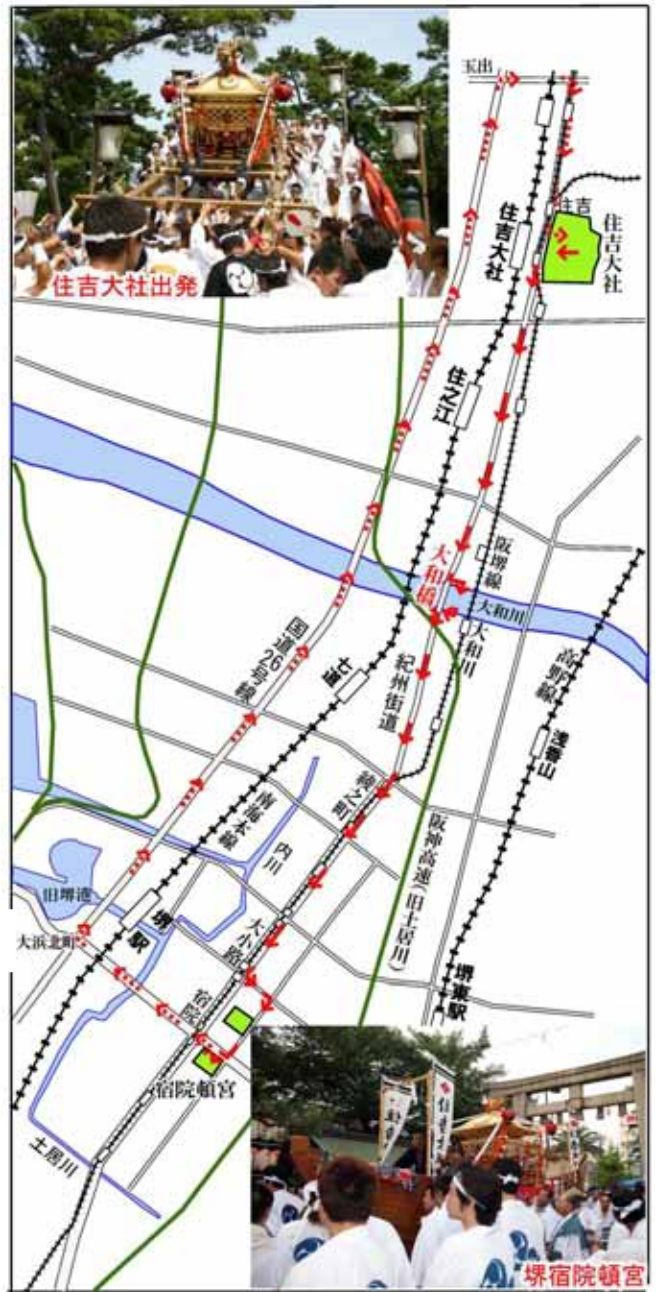


「住吉祭礼図屏風」 （写真 堺市物館提供）

大仙公園内の堺市博物館に、この時代の資料がたくさんあります。

大和川つけかえ後も、神輿の「お渡し」が続いた

住吉大社の夏祭りの行列は大和橋を渡り、神輿は川を渡りました。川の中州で、神輿のかつぎ手が交代します。1960年からとだえていた「お渡し」が、2004年に復活しました。



↓ 大和橋

堺宿院への住吉祭お渡りのルート

♥ ・ 考えよう ・ 調べよう ・ ・ ・ ・ ・ ♥

Q 「大和橋の碑」は橋の北がわなので
 () 市、阪堺線「大和川」駅は南
 がわで () 市にあります。

